

株式会社 エンライト

企業概要

設立

2014年

本社

〒107-0051

東京都港区元赤坂1-1-7

オリエント赤坂モートサイド1111

事業目的

法人・団体ウェブサイトの企画・

編集・制作・発行

広報・広告・IR用コンテンツの

企画・編集・制作・発行

出版物・書籍などの企画・編集・

制作・発行

マーケティング関連情報の提供、

コンサルティング業務

講演会・講習会・セミナーなどの

企画・運営・開催

ウェブサイト

<http://www.enlight-inc.co.jp>

問い合わせ先

tel (03) 6434-5941

e-mai : mito@enlight-inc.co.jp



**私たちエンライトは、技術の価値を
狙い通りに伝えるためのお手伝いをする会社です。**

優れていたのに、事業競争で敗れた技術が数多くあります。
陽の目を見ず消えていた革新的技術も無数にあります。

これらの失敗の多くは、技術の真値を、顧客や投資家、
パートナーに、正しく伝えられなかったことに起因します。
新しい技術の価値は、簡単には伝わりません。
技術が革新的であれば、困難さは増します。
伝える相手が、専門外の人ならばなおさらです。

私たちエンライトは 技術の価値を、狙った相手に、的確に
伝えるための方法を考え、実践する技術マーケティングに特
化した支援サービスを提供する会社です。

技術を伝える3つのサービス

戦略コンサルティング

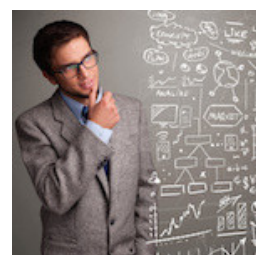
いかに優れた技術であっても、雑多な情報を提供するだけでは、その
価値を的確に伝えることができません。私たちは、技術の作り手と使い
手それぞれの目線に合わせた、技術の価値を、狙った相手に、的確に伝
えることができる技術マーケティング戦略を考えます。

メディアの設計と運営

オウンドメディアやソーシャルメディアの活用が、ビジネスの競争力
を高める上で重要な役割を演じています。私たちは、メディアの特性を
見極め、情報を伝える目的、発信者のリソース、狙った相手の特性に
合ったメディアを設計し、運営します。

コンテンツ制作

技術を的確に伝えるには、目的に沿い、相手の価値観、リテラシーに
合ったコンテンツが必要です。扱う技術が高度であるほど、その重要性
は高まります。私たちは、正確で、平易なだけではない、狙った相手に
確実に価値を伝えるコンテンツを制作いたします。



メディア設計、コンテンツ制作の実績がある技術分野

システム、サービス関連技術

ビッグデータサービス、IoT関連システム、人工知能、セキュリティー、自動運転車、電気自動車、スマートフォン、ウェアラブル機器、デジタル家電、パソコン、ルーターなど通信機器、ロボット、データセンター、ファクトリーオートメーション、メガソーラー、インテリジェントビルディング、医療機器 など

デバイス・コンポーネント、ツール技術

プロセッサ、メモリー、SoC、液晶パネル、有機ELパネル、アナログIC、パワー半導体、センサー、受動部品、組み込みソフトウエア、CAD/CAM、解析シミュレーター、自動車部品、計測器、コンパイラ、3次元プリンター、工作機、半導体製造装置、素材/新材料 など

制作実績のあるコンテンツ形態

トップインタビュー、開発者インタビュー、ケーススタディー、技術解説、有識者座談コラム、座談会レビュー、イベントレビュー、ビジネスモデル解説、会社紹介、書籍編集 など

制作実績例



アルプス電気様
新技術開発ストーリー



日経テクノロジーオンライン様
有識者の座談コラム「テクノ大喜利」



日経ビジネス様
技術系企業トップインタビュー 特集



自由民主党様
国家戦略本部
有識者講演録書籍



Infineon Technologies様
展示会配布用
技術解説タブロイド新聞



日本アルテラ様
新規顧客開拓用
ケーススタディー集



代表 伊藤 元昭
略歴

技術者としての3年間

同年、富士通に入社。宇宙開発事業団（NASDA）様委託の人工衛星搭載用の耐放射線デバイスの研究開発に従事。

ジャーナリストとしての12年間

日経BP社にて、日経マイクロデバイスおよび日経エレクトロニクスの記者、副編集長、日経BP半導体リサーチの編集長を歴任。その間、電子技術のインパクト、産業トレンド、企業戦略などを分析した記事を執筆。

コンサルタントとしての6年間

日経BP社と三菱商事の合併シンクタンク、テクノアソシエーツの創業メンバー（プリンシパル）として、半導体・機械・化学などの分野でメーカーの事業戦略策定、半導体・液晶パネル・電子部品・電子機器の技術市場研究に従事。

広告プロデューサーとしての4年間

日経BP社 技術情報グループの広告部門にて、電子系・機械系の技術指向の製品・サービスの販売を支援。マーケティング向けのコンテンツやイベントのプロデュース、制作に従事。